

(別記)

## 福祉サービス第三者評価結果公表事項（児童養護施設）

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

### ②施設名等

名称：近永愛児園	種別：児童養護施設
施設長氏名：二宮 和徳	定員： 40 名
所在地：北宇和郡鬼北町大字近永495	TEL 0895-45-0409

### ③実施調査日

平成25年 10月18日（金）～ 10月19日（土）

### ④総評

#### ◇特に評価が高い点

昭和30年6月、広見町外3ヶ町村医療事務組合が経営主体となり創設され、同年7月より事業を開始した。昭和46年10月に宇和島地区養護施設組合に経営移管し、昭和48年4月には宇和島地区広域市町村圏事務組合、平成元年4月より宇和島地区広域事務組合と経営主体を改め、園舎の拡張と2度の大規模修繕を経て現在に至っている。

平成22年に第三者評価を受け、養育・支援のマニュアルづくりに取り組んできたことは評価できる。全国的な動きでもある小規模化を意識して児童養護施設のあるべき姿を模索し、よりよい支援が行えるよう日々取り組んでいる。

また、施設長を中心として職員同志の連携が取れるよう努めている。勤務交代時の引き継ぎを十分に行い、支援が途切れることのないよう職員間の情報の共有や意識の統一、支援内容の標準化に努めていることは高く評価できる。

#### ◇改善が求められる点

今後、小規模化の実現に向けて建物や設備の整備を行うと共に、専門的な人事配置の要望や職員の知識・技術の向上について、積極的に取り組むことを期待したい。また、より家庭的な雰囲気や養育支援ができるよう、地域資源を積極的に活用するなど、地域全体で子どもを見守る体制づくりを行っていきよう今後の取組みに期待したい。

### ⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

今回2回目の受審ということで、前回の審査結果をふまえて、特に底辺の底上げに力を入れて取り組んできました。

その結果、小規模化に向けた取り組みや日々の業務内容について高い評価をいただけたことはとても励みになりました。また、指摘事項に対しては真摯に受け止め、職員間でよく話し合い、更に充実した養育支援ができるよう施設・地域が一丸となって取り組みを行える体制づくりに力を入れていきたいと思っております。

今後とも第三者評価を「気づき」の場としてとらえ、更に毎年の自己評価で課題の再確認を行い、問題点を整理し、目標を明確にして取り組んでまいります。

### ⑥第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（児童養護施設）

### 1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本	第三者評価結果
① 子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止め、子どもを理解している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
⑤ 秩序ある生活を通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>様々な年齢の子どもと一緒に生活する中では、子ども一人ひとりの要求を十分満たすことは困難であるが、できる限り細かな要求に応えられるよう柔軟に対応している。</p> <p>当園所内に幼児用の遊具や玩具、パソコンなど用意されてはいるが敷地内の遊具や年齢に応じた図書などは十分とはいえない。</p> <p>今後は、学びや遊びの場や機会を多く持てるよう、地域のボランティアや社会資源の情報を収集し、活用するなど、新たな工夫や取組みがなされるよう期待したい。</p>	
(2) 食生活	第三者評価結果
① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(3) 衣生活	第三者評価結果
① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
② 子どもの衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
(4) 住生活	第三者評価結果
① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
② 子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

前回の第三者評価結果を踏まえ、明るく楽しい雰囲気ですぐに食事ができるように音楽をかけるなど工夫がなされている。ほとんどの子どもが残さず食べており、食事が美味しいとの意見が多く充実した食生活が送れるよう配慮されている。

今後は、限られた時間の中でも可能な限り食卓を囲んで職員と子ども、子ども同士がコミュニケーションを取れるような場づくりや調理体験などの機会を設け、将来子どもたちが親になり家族を持つ時にその体験が生かせるような養育・支援をしていくことを期待したい。

(5) 健康と安全	第三者評価結果
① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a・Ⓑ・c

(6) 性に関する教育

① 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・Ⓑ・c
---	-------

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

健康管理や事故防止に関して職員が正しい知識を身につけ、現場を確認しながら細やかな指導を行い、年齢や発達段階に応じて、子ども自身が自己管理できるように支援や指導が行われている。

性教育への指導は、発達段階に応じてカリキュラムを用意し、有害な情報に対する対処方法や注意喚起、また命の尊さを学ぶ教育を行い、関連機関の協力を得るなどさらに充実した内容で指導できるよう新たな取組みに期待したい。

(7) 自己領域の確保	第三者評価結果
① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a・Ⓑ・c
② 成長の記録（アルバム）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	Ⓐ・b・c

(8) 主体性、自律性を尊重した日常生活

① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している	a・Ⓑ・c
② 主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	a・Ⓑ・c
③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a・Ⓑ・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

一人ひとりの成長が、整理されたアルバムで見取ることができ、子どもがいつでも手にとって生い立ちを振り返ることができるよう用意されている。

当園内の児童会で出された意見を職員会議で議題として取り上げ、話し合われた内容を子どもたちに伝えるなど、可能な限り子どもの主体性を尊重するよう配慮されている。

今後は、退所した子どもが社会に出た際に、収入に応じた生活ができるように、発達段階に応じて金銭の管理や使い方などを学習するためのプログラムを作成し、自立生活に向けての援助を行っていくよう期待したい。

(9) 学習・進学支援、進路支援等	第三者評価結果
① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a・㊀・c
② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a・㊀・c
③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a・㊀・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>進路支援に関して自己決定ができるように必要な情報提供や話し合いをする機会を多くとっている。また、資格取得やアルバイト等の体験など就労への支援が行われている。</p> <p>個々の学習プログラムや学習指導のためのボランティアの協力体制が十分ではなく、地域資源の活用や積極的な呼びかけを行い、学習環境をさらに整備していくよう望みたい。</p>	

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応	第三者評価結果
① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	a・㊀・c
② 施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a・㊀・c
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a・㊀・c
<p>(11) 心理的ケア</p>	
① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a・㊀・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子どもの些細な変化に対して引き継ぎが十分なされており、職員間の情報の共有ができていいる。問題行動に関して時間をかけて子どもと向き合い、話し合える体制を構築している。</p> <p>今後問題が生じた際には、なぜそのような行動に至ったかその背景や心理面の変化を十分聞き取り、記録・分析を行いながら子ども同士での話し合いの中で相手を思いやる関係づくりを支援し、施設が人間関係の構築の場として機能していくよう職員間でさらに意識を高めていくことを期待したい。</p>	

(12) 養育の継続性とアフターケア	第三者評価結果
① 措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	a・㊀・c
② 家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a・㊀・c
③ できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a・㊀・c
④ 子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a・㊀・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

家庭引き取りや退所に関して、児童相談所や関係機関と十分に協議を行い、適切に対応できている。

家庭復帰後の支援、虐待予防のため、退所後の記録整備を行うとともに市町村の子育て支援機関や民生児童委員など各関係機関等と連携し、支援体制のさらなる構築を行っていくよう期待したい。

## 2 家族への支援

(1) 家族とのつながり	第三者評価結果
① 児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a・ <b>b</b> ・c
② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	a・ <b>b</b> ・c
(2) 家族に対する支援	
① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・ <b>b</b> ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
家族との関係調整や親子関係の再構築の支援については、状況に合わせて職員が柔軟に対応している。	
家族のよりよい関係づくりのため、家庭支援専門相談員の設置は必要であるが、各職員がファミリーソーシャルワークに関する知識や技術の向上に努め、実践できるように今後の取組みに期待したい。	

## 3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者評価結果
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	a・ <b>b</b> ・c
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	a・ <b>b</b> ・c
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	a・ <b>b</b> ・c
(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	a・ <b>b</b> ・c
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	<b>a</b> ・b・c
③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

子どもの状況や課題に応じて具体的な自立支援計画の策定ができており、定期的に見直しが行われている。子どもや保護者に関する記録は適切に管理されており、職員間での情報の共有化ができています。

今後は、定期的にケース会議を実施し、その中で話し合われた内容も反映された自立支援計画が策定されるような仕組みを整備していくことを望みたい。

#### 4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者評価結果
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a・b・c
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a・b・c
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a・b・c
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	a・b・c
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	a・b・c
(2) 子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	a・b・c
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	a・b・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>定期的に児童会や食生活委員会を開催し、子どもの意向を把握する機会を設けている。児童会では職員も共に考え、改善に向けて真摯に取り組んでいる。</p> <p>子どもたちのプライバシー保護に関して職員間で常に話し合い、振り返りができるよう体制を整え、規程やマニュアルが職員に浸透するよう今後の取組みに期待したい。</p>	

(3) 入所時の説明等	第三者評価結果
① 子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	a・b・c
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
③ 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a・b・c
(4) 権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・b・c
(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	a・b・c

② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	a・㊦・c
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	a・㊦・c
<b>(6) 被措置児童等虐待対応</b>	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	㊦・－・c
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・㊦・c
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・㊦・c
<b>(7) 他者の尊重</b>	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a・㊦・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>当園に関する情報提供の仕組みは整えられており、入所してくる子どもの名前を書くなど事前に用意し、子ども同志がコミュニケーションを取りやすいように配慮するなど、工夫している。</p> <p>子どもに対する不適切な関わりを防止、早期発見するために、言葉かけなど職員間の中で慣れ合いになってしまわないよう職員一人ひとりが自己チェックをし、職員相互に注意し合えるような仕組みを構築するよう期待したい。</p> <p>また自己と他者の人格を尊重できるように支援していくために、地域の人との関わりや同・異年齢間の交流の機会をできるだけ多く設け、人との触れ合いの中で他者に対する配慮の心が育まれるようさらなる体制づくりを行っていくことを期待したい。</p>	

## 5 事故防止と安全対策

	第三者評価結果
① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a・㊦・c
② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	a・㊦・c
③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	a・㊦・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>事故防止に関する事例集やマニュアルなどのリスク管理の整備が進められている。ヒヤリハット報告を活用し、事故防止のための取組みが図られている。</p> <p>今後は、安全確保、事故防止に関するチェック体制や、建物・設備の定期点検のためのチェックリストなどが整備されておらず、速やかに安全確認等の仕組みを構築するよう望みたい。</p>	

## 6 関係機関連携・地域支援

(1) 関係機関等の連携	第三者評価結果
① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	<b>ⓐ</b> ・b・c
③ 幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	<b>ⓐ</b> ・b・c
(2) 地域との交流	
① 子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(3) 地域支援	
① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>児童相談所とのケース会議や、学校・PTAなどとの関わりは十分とれており、教育交流懇話会を当園で主催するなど連携を密にしている。</p> <p>被虐待児の増加やその対応など現在の社会的課題を解決していくために、児童養護施設が有する情報や経験を地域に提供していくことも今後必要とされてくる。限られた職員配置の中で講習会や研修会の講師としての参加や、子育て支援等の相談窓口の設置など実施可能なことから検討していくことを望みたい。</p>	

## 7 職員の資質向上

	第三者評価結果
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c



(特に評価が高い点、改善が求められる点)

指導的立場の職員や中堅職員は相談、指導をしっかりと行っており、一人で抱え込むことのないよう協力体制が整えられている。チームワークよく機能しており、互いの職種を理解しながら技術の向上や支援の充実を図っている。

予算や職員配置による限界はあるが、県内外で行われる研修へ積極的に参加するなどさらなる取組みに期待したい。

また、個々の職員の研修目標に応じて、養育の専門的な研修だけではなく、管理職研修やコミュニケーション研修など幅広い分野でキャリアアップできるよう、計画的な研修体制を整えていくことを期待したい。

## 8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	第三者評価結果
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a・b・c
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a・b・c
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・c
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・c
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	a・b・c
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	a・b・c
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	a・b・c
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・c
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>前回の第三者評価結果をもとに、理念に沿ったより具体的な中・長期計画や事業計画の策定が行われている。小規模化に向けた人員配置や予算の策定など、計画的に検討がなされている。</p>	
<p>今後は、中・長期計画の中に地域支援の拠点としての機能強化、里親支援や家庭支援を行う体制を盛り込み、小規模化に向けて養育支援を見直し、具体的な支援体制が整えられるようさらに充実した計画が策定できるよう期待したい。</p>	
(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者評価結果
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a・b・c

② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<b>(4) 経営状況の把握</b>	
① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	a・b・ <b>Ⓒ</b>
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設長のリーダーシップが十分に発揮され、指導的立場の職員や中堅職員を中心に役割分担の明確化、互いに助け合える関係が構築されている。</p> <p>養育・支援に関する資の向上のため、経験が少ない職員からの意見も聞きながら業務の効率化を図り、職員全員が高い意識を持って施設運営に取り組んでいけるよう期待したい。また、現在実施されていない外部監査については、組織として導入の検討が望まれる。</p>	

<b>(5) 人事管理の体制整備</b>	第三者評価結果
① 施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<b>(6) 実習生の受入れ</b>	
① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>適切に人事考課が行えるよう細かな基準が定められており、就業状況の把握が行われている。</p> <p>就業状況の把握は行われているが、改善策を策定する仕組みが十分とは言えない。有給休暇の効果的な取得方法について職員間同志の話し合いを行い、充実した職場環境を目指して仕事と生活の両立ができるように工夫することを期待したい。</p>	

<b>(7) 標準的な実施方法の確立</b>	第三者評価結果
① 養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを施設全体で実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c

(8) 評価と改善の取組	
① 施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	Ⓐ・b・c
② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	a・Ⓑ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>前回の第三者評価結果に基づき養育・支援における標準的な実施方法等を明文化した具体的な資料が作成されており、機能させる努力がなされている。</p> <p>評価結果を分析し定期的に見直しを行いながら、現場の状況に合わせて実現可能な改善策を策定し、それを確実に実行できる体制を構築するよう今後の取組みに期待したい。</p>	